

科目名	地域社会と観光	備考	
単位数	2 単位	授業形態	講義

天 野 宏 司

## 《S. I. T. の導入と観光業の変化について知る》

## 1. 授業内容

旅行に出かけるための障害がいくつも存在し、これが、少しずつ緩和され、誰もが・いつでも・どこへでも旅行に出かけられる時代になったのは、日本では約 100 年前のことで、本格的に旅行ブームが発生したのは、ほんの 50 年前のことです。近年では「自分らしく」あるために、自己と向き合う・自分だけの旅をもとめ、「特別な関心に基づいて」旅行に出かける時代へと変わりつつあります。観光業全体が大きな変革期を迎えているまただ中に我々はいると言うことを学んでいきます。

## 2. 到達目標

- ①観光の成立と歴史について理解する。
- ②地域社会における観光の重要性について理解する。
- ③S. I. T. の実例について講義中に提示した事例を理解する。

## 3. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素（スポーツ科学部）

- ③情報収集力, ④論理的・多面的, ⑥理解力, ⑭課題発見能力, ⑯問題解決能力

## 4. 卒業認定・学位授与方針との関連

この科目は、ディプロマ・ポリシー(全学部)の「(2)考える力」と関連しており、さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考える力を養います。

## 5. 関連科目

観光学

## 6. テキスト・参考書等

[テキスト]特に指定しない。

[参考書]適宜、授業中に紹介する文献を参考にしてください。

## 7. 授業外における学習方法及び必要な時間

- ①地図帳を用意し、講義中で触れられた地域について把握しておくこと(毎時間・総計 15 時間)。  
 ②適宜レポートを課す。締切日に提出のこと。締切を過ぎた物は原則として受け取らない(総計 45 時間)。

## 8. 成績評価方法

評価種別	割合 (%)	成績評価基準・その他備考
レポート	30	①要求されている課題に適切に答えているか?②その内容について評価する。
リアクションペーパー	35	①講義内容に即して答えているか?②その理解度を基準に評価する。
期末試験	35	講義内容の理解が自らの考えとして定着しているかを評価基準とする。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

各課題は、評価の上返却をします。その際に評価点についてコメントをします。

## 10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験：

実践的な教育の取組：

## 11. 授業計画

第 1 回	授業概要の説明
第 2 回	観光の成立と発展 1 - 「旅」と「旅行」 -
第 3 回	観光の成立と発展 2 - 僕たちを縛るあれこれ -
第 4 回	観光の成立と発展 3 - 新しい観光 -
第 5 回	観光における S. I. T.
第 6 回	飯能における S. I. T.
第 7 回	コンテンツ・ツーリズム
第 8 回	エコ・ツーリズム
第 9 回	アーバン・ツーリズム, ルーラル・ツーリズム
第 10 回	カルチャラル・ツーリズム, セックス・ツーリズム
第 11 回	フード・ツーリズム
第 12 回	ボランティアツーリズム
第 13 回	メディカル・ツーリズム, ヘルス・ツーリズム
第 14 回	ダーク・ツーリズム, スタディ・ツーリズム
第 15 回	S. I. T. 導入の成果と課題